りつめい No.268／2017年4月号
発行所／立命館大学校友会／年4回発行
発行人／村上健治
編集人／加藤美佐子
〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1
Tel.075（813）8216 Fax.075（813）8217
URL：http://alumni.ritsumei.jp
E-mail ： alumni@st.ritsumei.ac.jp

りつめい

題字・末川 博名誉総長

立命館大学校友会報

Alumni
立命館大学校友会
No.268
2017 APRIL
100th
2019,つながる校友会、ひろがる立命館

［巻頭特集］

オール立命館校友大会2016
アフタヌーン座談会 in 金沢

輝くひと

華道家元池坊 次期家元
池坊専好さん（'12院文）

いけばなは自分との対話

「野村萬斎さんが演じられた、『萬斎専好』がとても好きです。執行（しぎょう）でありながらも格式ばらず、花を生けることを純粋に楽しみ、また、花を介して人々と交流することを好む。私も萬斎専好のように、融通無碍でありたいと思います」。そう語るのは、華道家元池坊の次期家元である池坊専好さん。今年6月公開の映画『花戦さ』は、室町時代後半に生きた花僧の池坊専好（初代）が京都の町衆の代表として、時の権力者である豊臣秀吉の乱心に刃ではなく、花をもって敵討ちをするというストーリーだ。

映画では、僧侶たちが花を生けるシーンがある。花と向き合うことで心が落ち着き、心が整う。そして、表現したい姿に近づくための取捨選択をする。僧侶たちは自分の心を見つめ、感性を研ぎ澄ますためにもいけばなを嗜んだのだろう。

いけばなの家に生まれ、その世界に身を置き続けている池坊さんにとっても、花を生けることは楽しいばかりではないという。「生ける花には心が映ります。常に怖さと緊張感があり、その都度、試されていると感じる。だからこそ、毎日生けていても惰性にはならない。花との出会いも一期一会です」。

いけばなの歴史を客観的な目で見直したいと思い、2010年に立命館大学大学院の文学研究科に入学。修了した今でも、日々学ぶことが多いという。「一つ習得したからといっても通過点でしかないのが、本当の勉強。学びは、身の回りに起きるすべてのことから得ることができます。私は、年長の生徒さんから女性としての生き方を学び、一瞬一瞬を懸命に生きる花から今を精一杯生きることの大切さを学びました」。

池坊が文献に記されてから555年目を迎えた2017年に公開される映画『花戦さ』には「あらゆる多様性を認めよう、一人ひとりのかけがえのない命を尊重しよう、という大切なメッセージが込められています。いろいろな壁がつくられようとしている時代だからこそ、専好（初代）の生き方や映画に流れているメッセージが多くの方々に届くことを願っています」。

（文：高原 珠美　写真撮影：森 昭人）

華道家元池坊　次期家元
池坊専好（いけのぼうせんこう）さん（'12院文）

輝くひと 100

©2017「花戦さ」製作委員会

映画「花戦さ」
戦国時代、「刃」ではなく「花」をもって、暴君・秀吉に挑んだ池坊専好（野村萬斎）を描く、痛快エンタテインメント!
6月3日（土）全国公開。

立命館大学校友会報
りつめい APRIL 2017 No.268

Present
アンケートにご協力いただいた方にオリジナルグッズをプレゼント中!

03 巻頭特集
オール立命館校友大会2016
アフタヌーン座談会 in 金沢

01 輝くひと
華道家元池坊　次期家元
池坊専好さん（'12院文）

08 RITSUMEI INTERVIEW
株式会社滋賀銀行　取締役頭取
高橋祥二郎さん

12 立命館の研究者たち
イグノーベル賞受賞　文学部　東山篤規教授
「股のぞきをすると、景色が異なって見える理由」

14 東北応援ツアーのご案内
15 復興支援金芳名録
16 校友会未来人材育成基金
18 校友会連絡先一覧
20 校友会ネットワーク
行事報告
今後の行事予定

23 校友会設立100周年 Road to 2019 vol.04

24 学生の活躍
26 キャンパストピックス
29 +Rな人
新岡浩陽さん（スポ健4）
30 INFORMATION
編集室から

デザイン・ディライツ広告事務所

巻頭特集 オール立命館校友大会2016

アフタヌーン座談会 in 金沢

2016年10月、全国各地から約4,300名の校友などが集まった「オール立命館校友大会2016 in金沢」。どの企画も北陸三県の魅力が満載だったが、特に女性企画のFIT Cafe in金沢では、グループごとにテーマを設定して交流するワールドカフェスタイルに、各県の文化に触れる体験型講座を織り交ぜた企画で大変好評を得た。この企画の立ち上げから当日運営まで携わった各県の代表3名にこれからの校友会活動を含めた思いを聞いた。

〔撮影：平林義章〕

参加者

石川県校友会　副会長
大橋のり子さん
（'74産社）
趣味：クロスバイク、茶道
座右の銘：雲外に蒼天あり

富山県校友会
池本紀子さん
（'00経済）
趣味：散歩
座右の銘：雑草魂

福井県校友会
松原真紀さん
（'08経済）
趣味：水泳、サッカー観戦
座右の銘：有言実行

〔撮影協力：ビストロとどろき亭〕

昨年10月29日に開催された「オール立命館校友大会2016 in金沢」は、みなさんのお力によって、成功のうちに終わりました。「FIT Cafe in 金沢」は、タイトルにもあるように福井（Fukui）、石川（Ishikawa）、富山（Toyama）の北陸三県の魅力を体験できるワークショップとワールドカフェという画期的な形をとられましたね。

大橋　はじめは「女性校友対象の企画」ということだけしか決まっていませんでしたので、何をするか迷いました。北陸三県に関わりがある著名な方に講演を、という案も出ましたが、それでは「女性校友の交流」が図れない。遠路はるばる足を運んでいただくのですし、北陸の文化を体験し、味わいながら楽しんでいただけることをしたいと、交流と文化体験をあわせた、女性ならではの欲張り企画を提案しました。

池本　富山県は、県内の製薬会社である廣貫堂様と校友大会会場のホテル日航金沢様にご協力いただき、オリジナル薬膳パウンドケーキを作りました。レシピを考案・監修してくださった国際薬膳師の渡部先生と何度も試食を重ねて、ようやく完成させました。薬膳と聞くと、薬っぽい味がするのでは？と思われるかもしれませんが、材料にもかなりこだわっていて、みなさんにおいしい！と喜んでいただけました。

松原　福井県は、国内シェアの約95％を占める鯖江産のメガネフレームを使って、ご自身に合うメガネフレームの選び方のレクチャーと、越前和紙を使ったバッグチャーム作りのワークショップをしました。世界的に有名な増永眼鏡（株）の増永晶子さんが校友ということで、積極的に関わってくださいました。また、バッグチャーム作りの講師の方も、最後の仕上げまで丁寧にご対応いただき、素敵な作品ができていました。

大橋　石川県は、校友で（株）今井金箔の高柳祐二さんによる金箔貼り体験と水引細工作りを行いました。このようなイベントの運営には、ご協力いただく方にこちらの企画の狙いや趣旨をご理解いただき、気持ちをひとつにして、形にしていくという過程が必要です。私はテレビ局で働いていたので、取材、交渉が当たり前になっていましたが、初めての方には、とても大変なことだったと思います。でも、だからこそ、とてもいい経験をされたのではないでしょうか。

池本　そうですね。口にするものを扱いましたので、食物アレルギー等、細部まで気を使いましたし、想像以上に交渉や調整が大変でした。先方に提出する企画書の素案を安部香一事務局長にご確認いただき、何度も修正をしてもらいました。事務局長がご指導くださったおかげで、相手に簡潔にわかりやすく伝える力がつき、職場でも生かせています。

松原　福井県は、伊藤妙子さんが中心となって調整してくださいました。伊藤さんが交渉する姿や同じく企画担当の小西出高代さんの様子を見て、さすがだなと思うとともに、とても輝いておられて元気をもらいました。各県とも中心になってまとめてくださるリーダー格の方がいらっしゃるので、とても心強く感じますね。

大橋　大会当日は託児所の準備もしていたのですが、お子さんと参加したいとお申し出があり、一緒に参加してもらいました。お子さんに水引細工作りは難しいのでは、と思いましたが、お母さんと上手に作って楽しんでおられました。あえて子ども向けにしなくても、大人向けの内容で一緒に楽しんでもらえるんですね。感受性が豊かなときに北陸三県の文化に触れてもらえてよかったなと思います。校友会での楽しい思い出が、立命館大学入学をめざすきっかけになるかもしれませんしね（笑）。

松原　バッグチャームも上手に作られていました。今思えば、親子で楽しめるものばかりでしたね。

池本　親子で楽しめるという企画、いいですよね。どの企画も人気で、楽しんでいただけて本当によかったです。

大橋　今回、お一人で参加された校友も少なからずいらっしゃいました。女性向けで参加しやすそうだったからと、初めて校友大会に来られたようです。行ってみたいけれど躊躇されている女性校友はたくさんおられるのではないでしょうか。

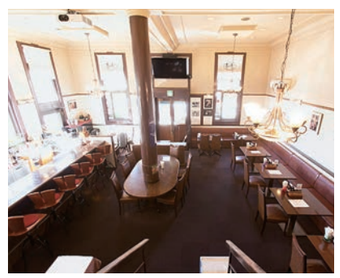
松原　私の周りでも、参加したいという声を聞いています。女性向け企画は、初めて参加される方にも、気後れせず楽しんでいただけるものだと思います。

池本　話はかわりますが、実は私、石川テレビのアナウンサーでいらした大橋さんとご一緒できるなんて夢にも思っていませんでした。自分と同じ名前のアナウンサーさんだ！と小さいころからテレビでお見かけしていましたので、本当にうれしかったです。

石川県（水引細工作り）

富山県（薬膳レクチャー＆パウンドケーキ試食）

福井県（メガネフレームの選び方　レクチャー）



朗読会や校友大会のプレ企画の北陸三県女子会も開催された、校友が経営する「ビストロとどろき亭」

松原　そうですよね！ 私も福井県校友会のビジネス交流会で、福井テレビの松枝隆一さんとお会いできました。小さいころからテレビで見ていた方とお話しできるなんて、信じられなくて…。立命館の校友会ネットワークのすごさを感じました。

大橋　そう言っていただけて、とてもうれしいです。ほかにも校友大会で一緒に司会を行った北日本放送アナウンサーの小林淳子さんは、アナウンス教室の後輩で、以前から私のことを知ってくれていたようです。校友大会でご一緒に司会ができたのは幸せでした。校友会のつながりは想像以上に影響力がありますね。

松原　初めて校友会の集まりに参加したときは、どんな方がいらっしゃるのだろうと不安もありましたけれど、各界でご活躍の方が多く、普段の生活では出会えない方と関わらせていただけて、本当にありがたく思っています。

みなさんお仕事やプライベートもお忙しいと思いますが、校友会に参加されたきっかけはなんですか。

大橋　私は、仕事で石川県校友会の当時、会長でいらした大井一星さんとお会いしたことがきっかけです。総会にお誘いいただいて参加したのですが、女性校友の参加が少なくて肩身が狭かったことを覚えています。でも、大井会長やその次の会長でいらした浅野弘明さん、福井県校友会の古村隆一副会長ら愛好心溢れる諸先輩方がいつも温かく迎えてくださったんです。そのおかげで、今につながっています。

池本　校友会に参加したのは3、4年前と、ごく最近のことです。卒業後は、立命館とかけ離れた世界で生きていましたが、実家の近くで石川県校友会の総会が開催されることを会報で知り、参加しました。その会で富山県校友会の田村哲朗会長にお声掛けいただいて、今に至ります。実は在学中、体調を崩し、もう通えないかと退学届を出しました。最終的には思い留まってどうにか卒業したのですが、みんなよりも出遅れたという劣等感が拭えませんでした。追いつくために仕事もプライベートも頑張り、やっとみんなの背中が見えてきたかなと思って、校友会に足を運びました。そんな私でも温かく迎えてくださったことや、今回の大役を任せてくださったことにとても感謝しています。

松原　私は、いいご縁があればいいな、と思って参加しました。卒業後、関西で就職したのですが、数年後、地元に戻りました。戻った当時は、何でもっと頑張らなかったのだろうと後悔する日々だったのですが、そんな状況を変えたくて、校友会に参加しました。そこで青年部前部長の丸井久明さんや女性部の谷口美波さん、青年部長の浅岡荘平さんに出会いました。ご活躍されている先輩方とお会いする機会も増え、みなさんの熱い思いに触れるうちに、私も今の環境で精一杯頑張ろう！ と再出発をすることができたのです。大学在学時は、ほかの大学に進みたかったこともあって、正直、愛校心は薄かったと思います。でも、校友会に参加して、立命館と地元に対する愛が強くなりました。どんな動機でも、温かく受け止めてくれる土壌が校友会にはありますね。今は「立命館でよかった」と心から思います。

校友会はみなさんの人生に深く関わっていたのですね。今回の校友大会を経験されていかがでしたか。

大橋　三県、それぞれに大変なこともありましたけれど、参加した方に楽しんでいただけたのが一番の喜びですね。その方々と新しいつながりができたことも大きな喜びです。今回、改めて思いましたが、何か1つのことを仕上げるときに、自分が主体的に関わるとそのプロセスもとても楽しいし、得られる喜びも大きい。多くの方と目的を持って作り上げていくことで連帯感が生まれ、それが次につながっていく。それが会社の組織ではなく、立命館大学の校友ということを共通項として1つにまとまることができる。これが立命館大学校友会の醍醐味ですよね。

校友の母校を愛する熱い気持ちが、今大会のフィナーレで起こった応援歌のアンコールに表れていたと思います。私も自然と涙があふれてきました。

池本　私も、本当にやってよかったです。人生の経験値が上がりました。北陸の女性校友の活動をもっと盛り上げていきたいので、また、北陸三県合同での企画も開催したいですね。

松原　みんなで取り組んだことが次につながっていく充実感を得ることができました。また、自分たちの地域のすばらしさを再確認するいい機会になりました。

大橋　全国各地からご参加いただけたので、各県で女性校友会を牽引されている方と交流できたことも、大きな収穫でした。ぜひ、全国区で女性校友の集まりができればうれしいです。2019年の100周年に向けて、女性校友会の取り組みが全国につながり広がって活発になればいいですね。

松原　今年ご卒業された方も、OB・OG訪問のように気軽に足を運んでいただければと思います。些細なきっかけでも結構です。ぜひ校友会に遊びにお越しください。

北陸地域における若手校友活動

北陸三県校友会では、校友大会も視野に入れ、石川県ではサッカー観戦企画、富山県ではバーベキュー企画、福井県ではビジネス交流会など総会以外にも若手校友が参加しやすい企画が実施されてきました。その積み重ねもあり、「オール立命館校友大会2016 in 金沢」で開催された20～30代対象の若手校友企画「立★コン2016」には、北陸地域を中心に約130名の参加がありました。

また当日、ワールドカフェ形式でテーマ別に交流した参加校友が中心となり、2016年11月には北陸三県の若手校友が集うアフター企画を金沢にて開催。約30名の若手校友が継続してつながりを深める機会となりました。

「オール立命館校友大会 2017 in 京都」10月21日（土）に開催！

今年の校友大会は、4年ぶりに京都市（ホテルグランヴィア京都）で開催されます。今大会は2019年に迎える校友会設立100周年を見据え、女性や幅広い年代の校友がこれまで以上に集うよう、女性・若手のアイデアを生かした校友大会づくりを進めています。

大会の詳細については、次号269号（6月下旬発行）および270号（9月下旬発行）、立命館大学校友会ホームページ特設サイト（公開予定）にて順次お知らせしますので、ご期待ください！

［撮影］平林義章

株式会社滋賀銀行 取締役頭取

高橋 祥二郎さん

1979年 経済学部卒業

地域の人と心を通じ合わせる銀行に

2018年に創業85周年を迎える株式会社滋賀銀行は、滋賀県唯一の本店銀行で店舗数は137カ店になる（代理店18カ店を含む）。高橋祥二郎さんは、2016年4月に取締役頭取に就任し、同行のトップ交代は8年ぶりのことである。

株式会社滋賀銀行は、創業の1933（昭和8）年から地域に根ざし、地域とともに成長してきた銀行です。当行の強みは、2つあります。1つ目は、預金や融資の県内シェアが高いことです。これは、堅実な経営スタンスが地域の方に支持していただけているからだと感じています。2つ目は、早くから広域地銀として県外に展開してきたことです。近江商人の行動哲学がベースにある当行は、1938（昭和13）年に京都、続いて大阪、東京にも拠点を置き、それぞれの地域に根ざした営業活動をしてきました。

頭取に就任し、お客さまから直接当行に対する期待や担うべき役割などのご意見を賜りました。これまで先輩方が築いてこられた営業基盤や地域の方々との信頼関係を受け継ぎ、さらに強い関係性が構築できるよう取り組んでいく所存です。

ニュースなどで報道されているように、地方銀行は合併や統合など厳しい環境に置かれています。この状況をどのように乗り越えていくかが、当行にとって最重要課題です。そのために単なる金融仲介業ではなく、総合金融情報サービス業への転換を図っています。また、メガバンクや信用銀行とは違う「ちぎんらしさ」が必要と考え、長期的に目指す姿として「未来創造銀行『The・ちぎん』」を打ち出しました。これは、地域の方々とリレーションを図りながら、地域や地域産業に貢献し、地域とともに新しい未来を創るということです。一番に相談され、最も早く、親切・親身に対応する銀行として、地元の企業とはFace to Faceで、お互いの心が通った状態をベースにしながら、業績が良いときも、厳しいときも取引を展開していく。ひいてはそれが地域貢献につながると考えています。個人のお客さまとは、ATMやインターネットバンキングなどの普及により、直接お会いする機会が減っていますが、住宅ローンや投資信託、個人年金など、ライフステージに合わせて相談していただける身近な銀行を目指し、取り組んでいます。

貸さない親切もある

私は、京都市で呉服店を営む家に生まれました。長男は大学へ進学を、次男の私には手に職を付け、商売をし

てほしいと父親から言われていましたが、成長するにつれ、私も大学に行きたいと思うようになり、立命館大学に入学しました。当時の立命館は飾り気のない校風で、私の性格に合っていると周りの方にも言われたことを覚えています。

大学時代は、勉強熱心なほうではなかったと思います。当時、百万遍にあった学生相談所の掲示板を見たり、友人に誘われたりして、20ほどのアルバイトを経験しました。アルミ工場や居酒屋、書店、スーパー、引越し業など、とにかくいろんなことを知りたいと、さまざまな業種で働きました。貯めたバイト代で高校・大学時代の仲間と沖縄や北海道などへ旅行をしたこともよい思い出です。

また、空いた時間には、映画を観にいっていました。特に印象に残っている作品は、松本清張原作の「砂の器」。「風と共に去りぬ」、「俺たちに明日はない」など、昔の外国映画もよく観ましたね。当時、700円で3本立てを観ることができたので、1日中、映画館にいたこともありました。

友人と宮島を訪れた高橋さん（右から2人目）

今、振り返るとあれほど自由な時間があったのは、本当に幸せなことだったと感じています。勉強でも、スポーツでも何か一つのことを続けられたらよかったかな、と少しばかり後悔もありますが、大学に進まず、すぐに働いていたら全く異なる人生を歩んでいたでしょう。もちろん、滋賀銀行に入ることもなかったでしょうし、今の立場もなかったと思います。立命館大学で過ごした時間は、単なる通過点ではなかったと感じています。

私が銀行員になったのは、お客さまの人生に深く関わることができる、やりがいのある仕事だと感じたからです。幼いころ、父親が銀行から住宅ローンを借りて家を建てました。それから10年ほど経って「銀行に一度お礼をせなあかんな」と言っていたのを耳にしたのです。昔は、今よりも住宅ローンを借りることが難しい時代でした。時を経ても感謝されるすばらしい仕事だと、いつしか銀行員を志すようになりました。

当時の日本は安定成長期で、銀行も単純にお金を集めたらいい時代から、融資が必要な時代へと変化していきました。1980年代後半のバブル期には、融資を増やす銀行も多くありましたが、当行は「実業を支えるべき」という考えから、投機や転売対象など、智恵も使わず汗も流さない虚業への融資は審査が通りませんでした。そのスタンスは、今もほとんど変わりません。

私は、支店長も経験してきましたが、銀行には「貸さない親切」もあると実感しています。先を見据えて、たとえ嫌われてでも本当にお客さまにとっての最善を考え、提案することが銀行員の役割だと私は考えています。

近江商人の「三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）」の精神を継承したわれわれの行是「自分にきびしく　人には親切　社会につくす」にある通り、お客さまや社会にとって常に誠実な銀行であり続けたいのです。

恩師からの熱い言葉

先日、頭取に就任したお祝いにと同じゼミの先輩と同級生の5名が、恩師を囲む会を開いてくれました。私は経済学部の濱崎正規教授のゼミに在籍していたのですが、米寿を迎えられても濱崎教授はお元気で、今でも毎晩深夜まで読書をしていると伺い、感服するとともに、とても勇気付けられました。

会のなかで先生は、学生時代にご教示くださったシュンペーターの「イノベーション」について触れられ、「シュンペーターは、イノベーションの本質を『創造的破壊』であると定義している」と話されました。創造的破壊とは、既成概念や固定観念、あるいは、過去の成功体験から脱却ができなければ新しい発想は生まれない。現状を破壊し、ゼロからの発想をしなければブラッシュアップや改善にとどまり、革新的な技術や製品は生まれない。つまり、物事の本質を見極め、新しい発想で失敗を恐れず、行動を起こし続けることがイノベーションの原点である、ということです。イノベーションについては、教わったときから鮮明に残っていましたが、改めてお話を聞くことで「マンネリはあかん」と再認識しました。また、この話で先生は私を激励してくださったのだと感じ、深く受け止めました。

当行の行員は約2,300名いますが、その中に立命館大学の卒業生が400名ほどいます。びわこ・くさつキャンパス（BKC）の影響が大きいのでしょうね。2016年12月には、当行と草津市、立命館大学と地域経済の活性化に向けた取り組みを推進することを目的に包括協定を締結しました。滋賀県は、人にも自然にも恵まれている地域です。技術力の高い大手グローバル企業のメイン工場が多く、製造業と農林水産業も盛んです。また、中堅の地元優良企業も数多くあります。若い方は県外の大手企業を目指す傾向にありますが、地元にも目を向けてもらえるように、当行としても情報提供など地域の発展に寄与したいと考えています。

「黄霧四塞と雖も 上に蒼天なきに非ず」。幕末、明治維新の思想家・吉田松陰の言葉で、私が常に心に刻んでいる言葉です。

私は、地方創生を担う地方銀行のトップとして、厳しい環境下にあっても最後まで諦めず踏みとどまり、青空が見えるまで精一杯やりぬく、との決意を胸に、大胆かつ柔軟な発想でお取引先と地域社会の新たな未来を切り開いていきたいと考えています。

PROFILE

株式会社滋賀銀行 取締役頭取
高橋（たかはし） 祥二郎（しょうじろう） さん
（'79経済）

「滋賀県の知識を深めるために歴史の本を読んだり、季節の折々に県内を巡ったりしています」

1979年立命館大学経済学部卒。
同年、滋賀銀行に入行。草津支店長や営業統轄部長、専務などを歴任。副頭取として第６次中期経営計画のとりまとめを主導。2016年4月、取締役頭取に就任。

股のぞきをすると、景色が異なって見える理由

文学部
東山篤規 教授

［写真］竹下さより

Profile Atsuki Higashiyama

1974年　大阪市立大学 文学部人間関係学科卒業
1976年　大阪市立大学大学院 文学研究科心理学修士課程修了
1978年　大阪市立大学大学院 文学研究科心理学博士課程後期課程中退
1978年～1996年 大阪府立大学総合科学部助手、講師、助教授
1983年　文学博士（大阪市立大学）
1996年～2017年3月　立命館大学文学部教授
2017年4月　立命館大学総合心理学部特任教授

東山篤規教授は「光学的・身体的変換視野の効果（股のぞき効果）」に関する研究で第26回イグノーベル賞知覚賞を受賞した。イグノーベル賞とは、「人々を笑わせ、そして考えさせる業績」を称えるものである。今回の受賞は、股のぞきによって視野と上体を逆さまにすると、視野が平面的になり、特に遠くのものが小さく接近して見えるという現象の解明が、その対象になっている。

股のぞき効果の研究を始めたきっかけ

東山教授は、「触覚と痛み」と「空間知覚」をテーマに人間の感覚と知覚に関する研究を行っている。垂直水平錯視※1の研究をしていたとき、身体を横にして錯視画像を見ると、錯視の現象が消えることがわかった。「身体の位置は、見え方に大きな影響を及ぼす」という結果が印象的だった東山教授は、より研究を深めていった。これが股のぞき効果の研究の発端である。

※1　交差する2本の線は同じ長さであるが、垂直線（縦線）のほうが水平線（横線）より長く見える錯視［図1］

「見る」という行為の前提条件

「私たちが日常に行っている『見る』という行為は、一定の生理学的、生態学的条件の中で形成された習慣」と東山教授は説明する。

1. 姿勢は、身体をほぼ重力軸に沿って少し前かがみか直立させ、定位して見る
   → 真っすぐ立って見ている
2. 2枚のレンズ（目）を用いて、適刺激といわれる特定の波長のみを受け入れて見る
   → 適切な刺激の範囲を見ている
3. 地上という重力がある場所で空気越しに、構造化された視野を見る
   → 地平線を境にして視野の上半分は空、下半分は地面という状況で見ている

股のぞきをすると、これら前提条件が外れる。つまり、上半身の上下が逆転、頭が胸の下に位置し、網膜に映る外界の像は上下だけでなく、左右が逆転する。ただし、網膜に与えられる波長や強度は正立視のときと変わらない。また、網膜像全体は180度回転するが、網膜像の部分間の関係は変わらない。

股のぞきで見える世界

股のぞきをすると、直立したときと景色が違うように見えることは国内外で指摘されていた。

生理学者・物理学者のヘルマン・フォン・ヘルムホルツ（Hermann Ludwig Ferdinand von Helmholtz 1821-1894）は、著書『フィジオロジカル・オプティックス』（1866）の中で「普通でない姿勢をとって、頭をわきの下や両足の股の間から風景を観察すれば、平面画のように見える」と記している。

股のぞきをしたときの見え方を調べるため、直立したときと股のぞきをしたときのものの大きさや距離の印象を30人に調査した。結果、直立グループは対象物の大きさも距離も正確に捉えていた。一方、股のぞきグループは高さ162cmの対象物が約80cmに見えるなど、遠いものを小さく感じ［図2］、距離は近くの対象物が実際よりも遠くに見え、遠くの対象物が実際よりも近くに感じることがわかった。

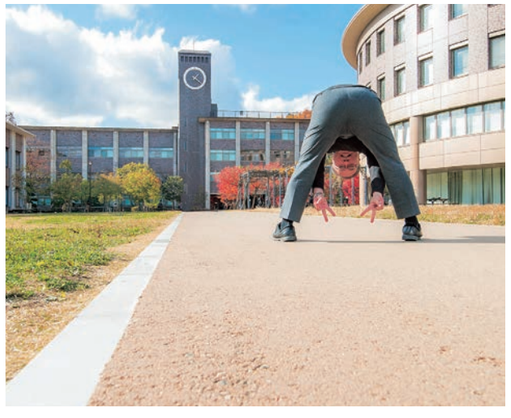
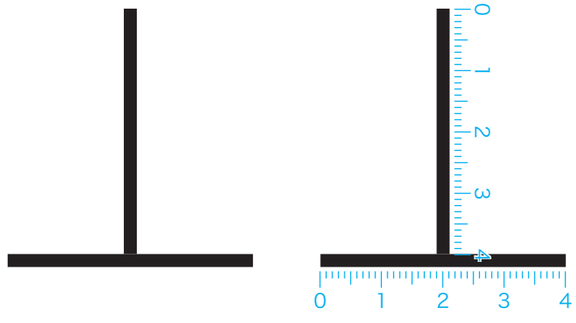


図1　垂直水平錯視

2本の線は同じ長さであるが、垂直線（縦線）のほうが水平線（横線）より長く見える錯視



直立と股のぞきで見え方違う理由

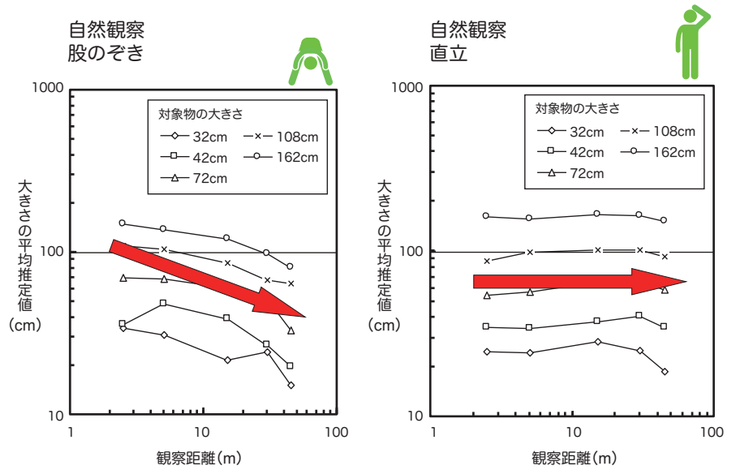
股のぞきで錯視が生じる理由は、2つの説が有力だった。

［視覚説］
網膜の上下逆転が原因。通常、地面がうつる網膜部位に空がうつることで脳が混乱し、距離が正しく測れない。

［自己受容覚説］
身体の上下逆転が原因。いつもの姿勢を崩すと普段通りにものが見えなくなる。　がねで股のぞきをした場合のみ、股のぞき効果が現れた。この研究で股のぞき効果は、身体の上下逆転が原因で起こることが解明された。

どちらの説が正しいかを確かめるため、視野が180度回転して見える「逆さめがね」を用いて実験を行った。逆さめがねをかけて直立で三角形を見るグループと、逆さめがねをかけて股のぞきをして見るグループで実験を行ったところ、逆さめ

図2　大きさの推移



イグノーベル賞は米国の雑誌「Annals of Improbable Research」が1991年に創設し、日本人の受賞は10年連続となる。「股のぞき効果の研究は、大阪大学人間科学研究科の足立浩平教授（元・立命館大学教授）との共同研究で受賞しましたが、当時の学生たちの協力があったからこそ研究ができました。私は、立命館大学総掛りでいただけた賞だと思っています」と東山教授は語った。

［写真］竹下さより
逆さめがね

2017年度 立命館大学校友会 東日本大震災復興支援事業

次回でフィナーレ！

東北応援ツアーのご案内

立命館大学校友会

立命館大学校友会では、2012年度から「東日本大震災で大きな被害を受けた地域を訪問することで、被災地の活性化に貢献すること」および「現地校友との交流を通して震災について学ぶ契機とすること」を目的とし、「東北応援ツアー」を毎年行ってきました。本ツアーも2017年度でいよいよ集大成となります。次回は、秋ごろに下記の内容で催行を予定しています。詳細については、次号の校友会報「りつめい」（7月ごろ発送予定）に同封予定の案内チラシをご覧ください。

岩手県コース

岩手県の北部を訪問するツアー。過年度より好評を得ている三陸鉄道の社員によるガイドつきの震災学習列車への乗車、勉強会など。震災当時から変化していく現地の今を直接「見て」「聞いて」「感じて」いただける内容を実施予定です。

岩手県校友会から一言

朝ドラ“あまちゃん”の舞台、北三陸を訪れます。巨大な防潮堤に囲まれていたものの津波で壊滅状態になった田老地区見学や、三陸鉄道の震災学習列車乗車などで、当時の様子や復興状況を見聞きしていただく予定です。

宮城県コース

震災復興のシンボルともなっている校友の経営する（株）木の屋石巻水産、（株）ささ圭や、大きな被害のあった閖上地区などを訪問、実際に現場で震災復興と向かい合っている校友による講演や宮城県の魅力を堪能する内容を実施予定です。

宮城県校友会から一言

過去5回で約100名の方が参加された宮城の東北応援ツアーも今回が最終です。防災勉強会をさらに充実させるとともに、楽しい観光も企画中です。宮城の「海の幸・山の幸」を食べて飲んで大いに語り、立命の絆を深めましょう。

福島県コース

震災学習をベースとしつつ、福島県の食（体験型を検討中）、観光、自然など様々な魅力を満喫しつつも、風評被害を乗り越えるため取り組む現地の声などを聞き、福島の今の姿を実感していただける内容を実施予定です。

福島県校友会から一言

震災・原発事故からはや6年。復興が進む中、原発事故を巡る動きだけがゆっくりとしか動かない。一方、日本で3番目に広い福島県の問題は、「フクシマ」と一言で片づけられるほど簡単ではありません。「ふくしま」に来て、見て、ご自身で感じてください。

※各コースの写真は昨年の東北応援ツアーの様子

立命館大学校友会東日本大震災義援金・復興支援金について

2016年11月1日～12月20日に以下のみなさまから復興支援金をお寄せいただきました。
なお、復興支援金は2016年12月20日をもちまして受付を終了いたしました。
2011年3月から募集を開始した東日本大震災義援金、2013年8月からの復興支援金に
ご協力いただきました全てのみなさまに、改めて心より御礼を申し上げます。

■ 個人／お名前（卒業年・学部、研究科名）※敬称略・卒業年順

個人情報保護のため、PDFではご協力いただいたみなさまのお名前を非表示としています。

※卒業年、学部・研究科名は、立命館大学校友会にご登録されている情報に基づき記載しています。なお、複数の学部・研究科を卒業・修了されている場合は、最終学歴を記載しています。

■ 団体／団体名

技術士会

■ 義援金・復興支援金

合計 21,715,149円（最終）

※合計金額の中には2012年度以降の校友大会の参加費の10%も含まれています。

義援金	12,930,000円
復興支援金	8,785,149円

■ 立命館大学校友会東日本大震災義援金・復興支援金事業のあゆみ

年 月 日	内 容
2011年3月11日（金）	校友会本部事務局にて東北・関東・信越等各県校友会役職者へ安否確認開始
2011年3月24日（木）	校友会ホームページ上で義援金募集の呼びかけを開始
2011年6月27日（月）	立命館大学校友会東日本大震災復興支援特別委員会（以下、特別委員会）発足
2011年7月4日（月）	立命館大学校友会東日本大震災復興支援特設サイトをオープン
2012年12月21日（金）	特別委員会にて義援金の受付終了・復興支援金の受付開始を承認
2013年7月31日（水）	義援金の受付終了
2013年8月1日（木）	復興支援金の受付開始
2016年4月16日（土）	特別委員会にて復興支援金の受付終了を承認
2016年12月20日（火）	復興支援金の受付終了

東日本大震災 復興支援金の活用事例

これまでに全国各地からお寄せいただいた支援金は以下のような活動に活用されました。岩手県・宮城県・福島県校友会からご報告がありました「使途報告書」の中から一部をご紹介します。

被災地・被災校友への支援

- 被災地域訪問のための交通費、お見舞い代、お供え物代、香典代
- 被災地域における校友相互のネットワーク強化・情報交換のための経費

被災地支援活動を行う学生への支援

- ボランティアを行う学生への差し入れ代、復興支援プロジェクトのサポート代

震災・防災学習

- 講演会（震災・防災などのテーマ）関連経費、東北応援ツアー関連経費

情報交換

- 近隣校友会との情報交換のための経費

校友会
未来人財
育成基金

未来人財育成基金から　新たな奨学金が誕生！

母校の後輩たちをサポートするため、2012年度から校友会が募集に取り組んできた
校友会未来人財育成基金。2015年度には、当初の「施設整備支援」に加え、
「海外留学支援」、「成長支援」、「課外活動支援」、「研究支援」の4つの活用プランが加わりました。
そして2017年から、「海外留学支援」、「成長支援」を実現するための奨学金がスタートします。

未来人財育成基金から生まれたふたつの奨学金

「+R校友会未来人財育成奨学金」命名のポイント

校友会未来人財育成基金募集推進特別委員会（以下、特別委員会）を中心に議論を進め、学生に浸透しつつある「+R」に加え、本基金から拠出されていることのイメージが湧くよう「校友会未来人財育成」を冠しました。

New!

+R校友会未来人財育成奨学金
グローバル・フィールドワーク・プロジェクト支援

まだ語学力が充分でないために留学に踏み出せない学生でも、国際的な視野を身に付けられるよう海外の大学へと派遣する「グローバル・フィールドワーク・プロジェクト」。この大学のプログラムへの参加費の約半額を支給することで、海外留学への第一歩を後押しします。

奨学金概要	
対象	海外留学への踏み出し支援プログラムである「グローバル・フィールドワーク・プロジェクト」に参加する学生
支給金額	1人あたり5万円（参加費半額相当）×上限60名（30名×2コース）
募集時期	2017年4月～ 5月
選考	大学が書類選考の上で決定します。
校友会とのつながりづくり	受給者は校友会行事で成果発表を行い、循環型後輩支援文化づくりに参画します。

New!

+R校友会未来人財育成奨学金
成長支援

2015年度より校友会からも支援を行ってきた+R個人奨励奨学金。学生の自主的な学びを支えてきたこの制度がさらにパワーアップし、校友会が全面的にバックアップする奨学金へと生まれ変わりました。活動に必要な経費を支給することで、社会貢献に取り組む後輩を応援します。

奨学金概要	
対象	学外との関わりのなかで、社会への還元性をもった目的を達成するために取り組む（取り組もうとする）個人での活動 ・地域や社会の様々な問題の解決を目指す個人での活動 ・文化の発展、地域づくりに主体的に参画する個人での活動 ・大学の教学理念を社会に発信する個人での活動
支給金額	1人あたり10万円～ 30万円×上限100名
募集時期	2017年5月
選考	大学が書類・面接選考の上で決定します。面接選考の際に、特別委員会の委員を中心に校友会本部役員等も審査員として加わります。
校友会とのつながりづくり	受給者は校友会行事で成果発表を行い、循環型後輩支援文化づくりに参画します。

奨学生たちの活躍は、今後こちらのページや校友会行事での発表を通じて紹介していく予定です。どうぞお楽しみに！

立命館大学の
支援を受けて
挑戦する学生たち

ミャンマーでそろばん教室

井越 望実 さん（法学部2回生）

高校の授業を通じて知り合った日本語学校の校長先生との縁で、ミャンマーの日本語学校を訪問することになった井越さん。せっかくなら得意なそろばんを使って日本文化に興味を持ってもらおうと、現地でそろばん教室をひらく計画を立てました。指導法を学ぶため小学生の頃に通っていたそろばん教室を訪れたところ、規模が縮小した教室の姿を目の当たりにし、ショックを受けると同時に、そろばん文化を伝えることへの使命感を一層強く持つようになりました。それからというもの、海外での指導経験を持つ先生を訪ねては英語での読み上げ算を教わったり、ミャンマー語の数字を覚えたりしながらミャンマーに出発するまでの時間を過ごしました。指導用のそろばんは高価で手が届きませんでしたが、手先の器用な友人の助けを得て、段ボールで自作することで乗り切りました。努力の甲斐あって、11名の日本語教室の生徒を対象にした4日間のそろばん教室は成功。誤った指使いを覚えてしまった人への指導や、生徒間の習熟度合いのバラつきに苦労しながらも、最終的に全員が読み上げ算をマスターできるようになりました。しかしこれで満足したわけではありません。ミャンマーでの活動を日本で報告することで、そろばん文化を盛り上げていきたいという新たな目標を掲げています。大好きなそろばんを携え、いろいろな人の助けを借りながらも目標に向かって突き進む――。NHKのドラマ『あさが来た』のヒロインにも通じるその姿は、これから未来を切り拓く女性たちを励ましてくれるようです。

募集要項

■ **寄付の金額**
(1) 個人・団体（校友会などの任意団体）の場合
ひと口1,000円からご支援いただけます（一括寄付と継続寄付［毎月・年2回・毎年］のどちらも可能です）。
(2) 法人の場合
ひと口の金額は特に定めておりません。

■ **募集期間**
期間に定めはありません。

■ **寄付の目標**
継続寄付者3,000名・累計10億円。
（2012年～2020年3月31日）

■ **活用プラン**
海外留学支援、成長支援、課外活動支援、研究支援、施設整備支援。

■ **税制上の優遇措置について**
本寄付は立命館大学に対する寄付金であり、税制上の優遇措置を受けることができます。

申込方法

❶ WEBで申し込む

立命館大学校友会のホームページよりお申し込みください。簡単な手続きで完了いたします。クレジットカード・銀行振込にてご寄付いただけます。

携帯電話からのアクセスはこちら！
http://gift2r.info
＊一部機種によってはご覧いただけない場合がございます。

❷ 書面で申し込む

校友会事務局に資料をご請求ください。銀行振込・口座振替にてご寄付いただけます。

お問合せ先（受付時間 土日祝を除く 9：30～17：00）

校友会未来人財育成基金に関しては
立命館大学校友会事務局
075-813-8216

寄付の受入れ、税制上の優遇措置に関しては
立命館 総務部 寄付事務局
075-813-8110

都道府県校友会・学部校友会 連絡先一覧 2017年2月現在

校友会本部役員

会　長	村上　健治	’70産社	前・大和ハウス工業（株）代表取締役社長
副会長	飛鳥井雅和	’64法	（有）ASUKAI企画取締役
	髙﨑　秀夫	’67法	（株）京都銀行代表取締役会長
	小野　守通	’69経営	（株）タクト相談役
	紬井　　憲	’69経済	（財）南都経済研究所顧問
	福元　寅典	’72経済	前・（株）南日本新聞社専務取締役
	松村　勝弘	’72院経営	立命館大学名誉教授

副会長	林　　幸雄	’73産社	（株）電広エイジェンシー代表取締役社長
	佐藤友美子	’75文	追手門学院大学地域創造学部地域創造学科教授
	森川　典子	’81産社	ボッシュ（株）取締役副社長
監　事	佐竹　力総	’70法	（株）美濃吉代表取締役社長
	伊藤　　昇	’71法	元・（学）立命館総務部長
	鈴木　治一	’91法	植松・鈴木法律事務所弁護士

都道府県校友会

校友会名	会長名	事務局		連絡先電話番号
立命館大学北海道校友会	千廣　隆章	006-0805	札幌市手稲区新発寒五条1-8-1　中川均 様	011-251-3373
立命館大学東北海道校友会	本田　公一	080-0802	帯広市東二条南4丁目10　菊池貞雄 様	090-6447-2969
立命館大学青森県校友会	水木　　洋	030-0803	青森市安方1-5-17　舩水重利 様	017-722-2926
立命館大学岩手県校友会	菊池　　宏	020-0802	盛岡市つつじが丘7-3　酒井博忠 様	019-654-3893
立命館大学宮城県校友会	大沼　久明	984-0831	仙台市若林区沖野4-5-20　柏原晋 様	022-286-9928
立命館大学秋田県校友会	今野　　謙	010-1436	秋田市大住2-4-19　今野謙 様	018-831-1250
立命館大学山形県校友会	伊藤　邦男	990-2483	山形市上町1丁目5-22　伊藤邦男 様	023-643-6914
立命館大学福島県校友会	桑原　勇健	963-8877	郡山市堂前町3-33　馬場幸蔵 様	024-922-4964
立命館大学茨城県校友会	木村　幸夫	310-0903	水戸市堀町2247-8　木村幸夫 様	029-252-8401
立命館大学栃木県校友会	笠原　朋雄	329-1104	宇都宮市下岡本町3792-4　笠原朋雄 様	028-673-1783
立命館大学群馬県校友会	石橋　　博	370-3521	高崎市棟高町1802-409　石橋博 様	027-372-8422
立命館大学埼玉県校友会	小玉　秀生	104-0041	中央区新富1-16-8　エクセルアート（株）内　榎本哲郎 様	03-3552-2201
立命館大学千葉県校友会	小林　常男	274-0805	船橋市二和東5-48-17　森下功 様	047-449-4329
立命館大学東京校友会	竹内美奈子	100-0005	千代田区丸の内1-7-12　サピアタワー 8階　立命館東京キャンパス	03-5224-8188
立命館大学神奈川県校友会	野口　邦夫	230-0071	横浜市鶴見区駒岡1-10-E-304　社労士のぐちくにを事務所　野口邦夫 様	080-6721-0071
立命館大学新潟県校友会	樋口　和道	950-2072	新潟市西区松美台8-25-8　渡邉剛 様	025-265-6596
立命館大学富山県校友会	田村　哲朗	939-8212	富山市掛尾町227-1　福田豊 様	076-461-7866
立命館大学石川県校友会	加納　　裕	921-8103	金沢市つつじが丘107　木場密雄 様	076-243-5806
立命館大学福井県校友会	品谷　義雄	910-0024	福井市照手3丁目2-17　橘誠一 様	0776-23-3542
立命館大学山梨県校友会	佐野　宣以	400-0065	甲府市貢川2-5-33　久保田忠行 様	055-227-5136
立命館大学長野県校友会	髙木　春光	390-0822	松本市神田1-28-2　降幡信秀 様	0263-25-0279
立命館大学岐阜県校友会	平野　順一	503-0807	大垣市今宿4-32-1　（株）大垣麺房 内　房野麻紀子 様	0584-74-3036
立命館大学静岡県校友会	大場　　勝	420-0882	静岡市葵区安東2丁目8-5　佐藤友清 様	054-245-5612
立命館大学愛知県校友会	伊藤　享司	457-0861	名古屋市南区明治1-4-21　（株）あかのれん本部内　代表取締役社長　伊藤享司 様	052-692-6811
立命館大学三重県校友会	山川　和俊	516-0053	伊勢市中須町1651-1　山川和俊 様	0596-28-5509
立命館大学滋賀県校友会	辻　　淳夫	520-8686	大津市浜町1-38　（株）滋賀銀行　システム部　瀬古数久 様	077-521-2440
立命館大学京都校友会	岡野　益巳	604-8520	京都市中京区西ノ京朱雀町1　立命館大学　校友・父母課	075-813-8216
立命館大学大阪校友会	佐藤友美子	530-0018	大阪市北区小松原町2-4　大阪富国生命ビル14階　立命館大阪梅田キャンパス	06-6360-4895
立命館大学兵庫県校友会	水田　宗人	658-0016	神戸市東灘区本山中町4丁目10番5号　伊藤四朗 様	078-451-7751
立命館大学奈良県校友会	紬井　　憲	633-0053	桜井市大字谷125-13　土田次郎 様	0744-43-5043
立命館大学和歌山県校友会	村上　長保	640-8222	和歌山市湊本町1-10-1-405　和田好史 様	073-432-7039
立命館大学鳥取県東部校友会	谷口　博繁	680-0874	鳥取市叶122　西垣ビル　（株）アド・ネットワーク内　西垣佳則 様	0857-30-0555
立命館大学鳥取県西部校友会	秦　伊知郎	683-0037	米子市昭和町25-1　サンイン技術コンサルタント（株）内　大野木昭夫 様	0859-32-3308
立命館大学島根県校友会	安達　　且	690-0007	松江市御手船場町572-2　和田裕之 様	0852-21-9907
立命館大学岡山県校友会	守屋　博司	700-0903	岡山市北区幸町7-14　天水　幸町店　守屋博司 様	090-3638-9784
立命館大学広島県校友会	髙面　治美	731-0138	広島市安佐南区祇園7-28-9-4　足羽真一 様	082-875-4526

校友会名	会長名	事務局		連絡先電話番号
立命館大学広島県東部校友会	小田　正己	720-0808	福山市昭和町6-1 福山電業（株）　島田斉 様	084-922-6361
立命館大学山口県校友会	清弘　和毅	753-0043	山口市宮島町7-21　中村史朗 様	083-924-0283
立命館大学宇部小野田校友会	江本　郁夫	755-8601	宇部市常磐町1-7-1　宇部市役所　森島正信 様	0836-34-8334
立命館大学徳島県校友会	鎌田　啓三	770-0874	徳島市南沖洲2-7-33　鎌田啓三 様	088-664-2344
立命館大学香川県校友会	松浦　康隆	760-0071	高松市藤塚町2-12-15-404　穴吹学 様	087-862-3565
立命館大学愛媛県校友会	松本　　等	791-8022	松山市美沢1丁目1番19号　石田二朗 様	089-925-2547
立命館大学高知県校友会	平井　雅章	781-5108	高知市潮見台1-3101　千蒲悦嗣 様	090-1322-5381
立命館大学福岡県校友会	清家　邦敏	812-0892	福岡市博多区東那珂3-6-62 大成印刷（株）　代表取締役会長　清家邦敏 様	092-472-2621
立命館大学北九州校友会	藤田　卓也	804-0025	北九州市戸畑区福柳木2-3-11　初村雅敬 様	093-882-9240
立命館大学佐賀県校友会	白武　　悟	842-0051	神埼市千代田町黒井172　増田定次 様	0952-44-4248
立命館大学長崎県校友会	市原　正博	850-0037	長崎市金屋町4-5（株）長崎ガードシステム内　山口孝司 様	095-825-3795
立命館大学熊本県校友会	隈部　幸一	862-0950	熊本市中央区水前寺1-1-16　フェリーチェ新水前寺902　飯田俊之 様	090-1368-8809
立命館大学大分県校友会	直野　清光	870-0128	大分市森108-83　佐藤昌彦 様	097-521-5392
立命館大学宮崎県校友会	橋口　剛和	880-0926	宮崎市月見ヶ丘5-1-1　フォンテ月見ヶ丘三番館202　南英輝 様	0985-44-1975
立命館大学鹿児島県校友会	前迫栄二郎	891-0150	鹿児島市坂之上3-11-16　榊井昭広 様	099-262-4053
立命館大学沖縄県校友会	糸洲　　昇	900-0005	那覇市天久2-28-23-203　島袋健 様	090-7587-0858

学部・学系校友会

衣笠キャンパス　〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

校友会名	会長名	事務局	連絡先電話番号
立命館大学法学部同窓会	久岡　康成	法学部事務室内	075-465-8175
立命館大学文学部校友会	中小路宗隆	文学部事務室内	075-465-8187
立命館大学産業社会学部校友会	古谷　　寛	産業社会学部事務室内	075-465-8185
立命館大学国際関係学部校友会	吉丸　尚宏	国際関係学部事務室内	075-465-1211
立命館大学映像学部同窓会	大矢　侑輝	映像学部事務室内	075-465-1990
立命館大学大学院応用人間科学研究科校友会	野池　雅人	衣笠独立研究科事務室内	075-465-8375
立命館大学大学院言語教育情報研究科同窓会	天野　輝雄	衣笠独立研究科事務室内	075-465-8363

びわこ・くさつキャンパス　〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1

校友会名	会長名	事務局	連絡先電話番号
立命館大学経済学部同窓会	住野　公一	経済学部事務室内	077-561-3940
立命館大学数物会	河野　俊彦	理工学部数学物理学系事務室内	06-6969-8111
立命電友会	瀬見　英利	理工学部電子システム系事務室内	077-561-2662
立命館大学情報会	明石　　創	情報理工学部事務室内	077-561-5295
立命館大学建設会	桑山　　忠	理工学部環境都市系事務室内	077-561-4911
立命館大学機友会	津田　雅也	理工学部機械システム系事務室内	077-561-2664
立命化友会（旧 立命館大学応化会）	白井　　総	生命科学部事務室内	077-561-2658
立命館大学スポーツ健康科学部・同研究科同窓会	伊坂　忠夫	スポーツ健康科学部事務室内	077-561-3760

大阪いばらきキャンパス　〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150

校友会名	会長名	事務局	連絡先電話番号
立命館大学経営学部校友会	奥田　直幸	経営学部事務室内	072-665-2090
立命館大学政策科学部同窓会「洋洋会」	小原　弘己	政策科学部事務室内	072-665-2080
RIMOT（テクノロジー・マネジメント研究科校友会）	岡崎永実子	OIC 独立研究科事務室内	072-665-2100
立命館大学経営大学院校友会（RIMO）	下村　治生	OIC 独立研究科事務室内	072-665-2101

朱雀キャンパス　〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1

校友会名	会長名	事務局	連絡先電話番号
立命館大学大学院法務研究科同窓会（法科大学院同窓会）	山崎　道雄	朱雀独立研究科事務室法務研究科内	075-813-8272
立命館大学公務研究科校友会（Rippo）	大竹美紗子	朱雀独立研究科事務室内	075-813-8274

海外校友会（順不同）

立命館大学北カリフォルニア校友会
立命館大学ロスアンジェルス校友会
立命館テキサス会
立命館大学シカゴ校友会
立命館ニューヨーク校友会

立命館大学バンクーバー校友会
立命館大学英国校友会
立命館大学ドイツ校友会
立命館大学インド校友会
立命館大学インドネシア校友会

立命館大学サイゴン校友会
立命館大学ハノイ校友会
立命館大学タイ王国校友会
立命館大学シンガポール校友会
立命館大学マレーシア校友会

在韓立命館大学同門会
立命館大学台湾校友会
立命館大学香港校友会
立命館大学北京校友会
立命館大学上海広小路会

立命館大学広州校友会
立命館大学モンゴル校友会
立命館大学シドニー校友会
立命館大学ミャンマー校友会

行事報告

2016年11月中旬～2017年2月中旬に行われた各団体の行事の一部を紹介しています。

＊詳しくは校友会ホームページをご覧下さい
http://alumni.ritsumei.jp

都道府県校友会/海外校友会

11/11
鳥取県東部校友会 総会
55名　ホテルモナーク鳥取

11/12
埼玉県校友会 総会
45名　東天紅 JACK大宮店

11/12
福岡県校友会 総会
300名　ソラリア西鉄ホテル

11/12
愛知県校友会 総会
360名　名鉄グランドホテル

11/12
宇部小野田校友会 総会
32名　国際ホテル宇部

11/13
鹿児島県校友会 総会
79名　鹿児島 東急REIホテル

11/19
鳥取県西部校友会 総会
25名　ホテルハーベストイン米子

11/19
大分県校友会 総会
81名　大分センチュリーホテル

11/19
佐賀県校友会 総会
36名　ホテルニューオータニ佐賀

11/23
広島県東部校友会 総会
70名　フォレストヒルズガーデン

11/26
タイ王国校友会 懇親会
21名　Rosabieng Restaurant

1/28
北海道校友会 総会
70名　ホテルライフォート札幌

2/8
ハノイ校友会 総会
19名　DaiGo Restaurant

2/10
マニラ校友会 総会
11名　Mangetsu（萬月）

2/11
マレーシア校友会 総会
23名　J&P マジックハウス

2/11
群馬県校友会 総会
25名　レストラン「ブラッスリーローリエ」

2/18
東京校友会 総会
230名　明治記念館

2/18
上海広小路会 総会
33名　ややこ

学部・学系校友会

1/28
建立会（建設会大阪支部）総会
142名　ヴィアーレ大阪

地域校友会

11/18
京丹後支部校友会 総会
30名　プラザホテル吉翠苑

11/19
清和会 総会
630名　ウェスティン都ホテル京都

11/26
広島県西部地区校友会 総会
15名　宮島コーラルホテル

2/5
姫路立命会 総会
64名　総社会館

2/11
遠州会＆女性会 立春懇親パーティー
50名　プレスタワー

職域校友会

11/12
技術士会 交流・懇親会
20名　レストランモリシタ

11/22
尼崎市役所比叡会 総会
100名　都ホテルニューアルカイック

1/10
愛知県庁立命会 総会
52名　アイリス愛知

1/28
北朋会（北海道教育関係者の会）総会
21名　ホテルライフォート札幌

TOPICS

立命館大学京都校友会が総会を開催

2016年12月17日（土）、ウェスティン都ホテル京都にて立命館大学京都校友会が総会・懇親会を開催され、370名が参集しました。会では布垣豊氏（'61法）の会長退任が発表され、14年間の功労を称え、立命館大学校友会の村上健治会長から感謝状が贈呈されました。ほかにも本学相撲部の校友・学生によるトークショー、未来人財育成基金を原資とする奨学金受給者による成果発表、学生団体のパフォーマンスなどが行われ、世代を超えた交流が図られました。

TOPICS

経済学部同窓会が今年も「経済学部就職活動応援企画」を支援

経済学部では、1月7日（土）・8日（日）の2日間、全国から100名のOB・OG講師を迎え、3回生学生200名が参加し、「就職活動応援企画実践と学び編(メントレ)」を開催しました。本企画は経済学部同窓会が後援し、今回で4回目となります。「働くこと」を徹底的に考えるイベントで、学部が単独で実施する学びと連動したキャリア企画としては全国でも類を見ないものです。

2/1
三菱東京UFJ銀行立命館大学OBOG会 総会
53名　大東洋

2/17
弁理士校友会 総会・弁理士試験合格者祝賀会
16名　サッポロビアレストラン ニューミュンヘン北大使館

サークルOB・OG会

11/19
証券研究会OB会 総会・懇親会
20名　ホテル京阪 京都

11/26
ユースホステル研究会OB会
100名　京都平安ホテル

2/12
立命館大学体育会歓送会
700名　ホテルグランヴィア京都

その他の会

11/23
衣笠寮・寮友会
11名　京都タワーホテル

1/13
二宮ゼミOB・OG会（二宮周平教授 最終講義&ゼミOGOB会）
130名　衣笠キャンパス

2/11
経済学部本田ゼミナール同窓会 総会
60名　新・都ホテル

今後の行事予定

2017年4月～8月に予定されている総会です（判明分）

＊詳しくは校友会ホームページをご覧ください
http://alumni.ritsumei.jp

校友会・グループ	日程	会場	問い合わせ先	
立命寄席	4/22（土）18：30	天満天神繁昌亭	校友会事務局	075（813）8216
愛知県校友会東三河会 総会	4/22（土）	ホテルアソシア豊橋	青木　清美	0533（72）2723
奈良県北部校友会 総会	5/14（日）16：00	ホテル日航奈良	寺田　惇	090（5971）9752
南都銀行立命会 総会	5/19（金）19：00	奈良ロイヤルホテル		
長崎県校友会 総会	5/20（土）	長崎稲佐山観光ホテル	池田　真樹	095（825）3795
ウリ同窓会	6/3（土）17：00	東華菜館	白　吉雲	075（321）3355
奈良県校友会 総会	6/10（土）	天理教第38母屋	土田　次郎	0744（43）5043
山形県校友会 総会	6/17（土）	ホテルキャッスル	伊藤　邦男	023（643）6914
高知県校友会 総会	6/17（土）	ホテル日航高知旭ロイヤル	千蒲　悦嗣	090（1322）5381
滋賀県校友会 総会	6/24（土）	大津プリンスホテル	嶋﨑　良伸	077（521）2202
技術士会 総会	6/24（土）13：00	中央電気倶楽部	技術士会事務局企画・窓口	rits.kikaku.mado@gmail.com
東北海道校友会 総会	6/24（土）	アパホテル帯広駅前	菊池　貞雄	kikusada@mac.com
岩手県校友会 総会	7/1（土）15：00		酒井　博忠	019（654）3893
香川県校友会 総会	7/1（土）	ホテルパールガーデン	穴吹　学	087（862）3565
青森県校友会 総会	7/15（土）15：00	ウェディングプラザアラスカ	舩水　重利	017（722）2926
和歌山県校友会 総会	7/15（土）12：00	ホテルグランヴィア和歌山	和田　好史	073（432）7039
徳島県校友会 総会	7/22（土）16：30	阿波観光ホテル	鎌田　啓三	088（664）2344
宮城県校友会 総会	7/22（土）	ホテル法華クラブ仙台	柏原　晋	022（286）9928
岐阜県校友会 総会	7/22（土）16：00	ホテルグランヴェール岐山	房野　麻紀子	0584（74）3036
神奈川県校友会 総会	7/29（土）13：00	崎陽軒本店	野口　邦夫	080（6721）0071
秋田県校友会 総会	7/29（土）	秋田ビューホテル	今野　謙	018（831）1250
福岡県校友会 新卒者歓迎パーティー「立門会」	7/29（土）		清家　邦敏	092（472）2621
兵庫県校友会 新人歓迎会＆異業種交流会	8/5（土）	凰月堂ホール	寺田　豊	terada@sonoda-u.ac.jp
立命館学園会計人会 30周年記念総会	8/26（土）	京都ホテルオークラ	上田税務会計事務所内	075（672）4361
岡山県校友会 総会	8/26（土）16：00	アークホテル岡山	守屋　博司	086（232）0945
熊本県校友会 総会	8/26（土）17：30	鶴屋百貨店カーネーションサロン	飯田　俊之	090（1386）8809

つながる！ひろがる！
校友会設立100周年
Road to 2019

volume 04

校友会報の軌跡

校友と校友、母校と校友をつなぐ紐帯として親しまれてきた会報誌。
時代を映す鏡のように、校友会のその時々の歩みを今に伝えてくれる。

■『立命館学誌』校友号　戦前

校友会設立以前より、校友の動向や各地で開かれる同窓会は学園の総合広報誌である『立命館学報』や『立命館学誌』を通じて知らされていた。1937年の幹事会において、校友相互および大学と校友間の連絡強化のためこの『学誌』の校友号を年3回発行することが決まり、1937年10月の203号と1938年3月の207号に実現される。しかしほどなく「校友号発行は時局柄立命館学誌発行不能となるやも計られざるが故に、回数、部数を減じても発行する様学校へ交渉する事」が申し合わされ、以降の発行は確認できていない。

『立命館学誌』207号校友号　1938.3

■『立命』　1952～1973

校友会独自の媒体が初めて登場したのは戦後になってからのこと。今、私たちが手にしている『りつめい』の前身、『立命』である。当時会長であった小田美奇穂は「母校の情況や、色々の動きを校友へ、校友の希望や消息を母校への連絡機関として会誌の発行が望ましいことであったが、今日迄用紙等の統制やその他色々の制約で、その実現が延び延びになり今漸く母校関係者や校友多年の要望に應へ得た事は喜びに堪へない」と創刊のことばを寄せている。

『立命』創刊号
1952.6

■『立命館学園新聞』校友特集号　1957～1968

当初年3回発行の予定でスタートした『立命』であったが、1957年からは年に1度、新校友に配布される卒業記念号として媒体の性格を変えてゆく。一方、校友の消息や学園近況を校友に伝える役割は、『立命館学園新聞』校友特集号が担うようになる。校友特集号は11年間で計29号が発行された形跡があるものの、欠号も多い。この時代の校友会の活動を記す貴重な資料なだけに、今後の発掘が期待される。

『立命館学園新聞』校友特集 No.3
1958.9

■『立命館大学校友会ニュース』　1969～1972

『学園新聞』校友特集号の性格を継承しながら、校友会独自の媒体として創刊した『校友会ニュース』。1972年までの間に計8号を発行する。7号、8号の巻末には「従来、年三～四回全校友にお届けしていました校友会ニュースは、学園紛争の影響でその後は年一～二回の発行をやっと維持して居りましたが」と、当時の厳しい状況が記されている。

『校友会ニュース』 1969.10

■『りつめい』　1973～

『校友会ニュース』と『立命』を合併した『りつめい』が創刊。内容やデザインは時代に合わせてリニューアルを重ねながらも、末川博名誉総長による題字は創刊から今日まで変わることなく受け継がれている。表紙を飾る「輝くひと」の連載は1993年の163号より。今では男女が交互に登場するスタイルが定着しているが、当初は女性校友にスポットを当てることをコンセプトに掲げてスタートし、今号で記念すべき100回目を迎える長寿企画となった。各界・各地で活躍する校友の姿を追い、母校の最新情報を35万人の校友に伝えること。会報が担ってきた役割は、これからも続いてゆく。

『りつめい』No.163　1993.5

NEWS!

100周年応援隊に池坊専好さんが就任しました！

100人目の「輝くひと」として本誌にご登場いただいた池坊専好さん。校友会設立100周年応援隊の一員としてもご協力いただけることになりました。池坊さんからの応援メッセージは、校友会設立100周年記念特設サイトにてご覧いただけます。

検索　立命館　校友会　100周年

SPORTS スポーツ

問い合わせ先：スポーツ強化センター
077－561－3977

居合道同好会

第31回全日本学生居合道大会で上位を独占　団体も3位

第31回全日本学生居合道大会が11月27日、龍谷大学深草キャンパス総合体育館で行われ、体育会居合道同好会が団体3位、個人でも福永靖史選手（理工3）、溝田晴矢選手（産社3）が決勝へ進出。僅差で福永選手が優勝、溝田選手が準優勝という好成績を残しました。個人戦での上位独占は、創部21年目で初の快挙となります。

団体戦では、準決勝では惜しくも近畿大学に2対3で敗れたものの、3位決定戦で名古屋大学を5対0で下し、見事3位入賞を果たしました。

●団体戦メンバーは以下の通り ※敬称略
大内洋貴（法4）、金信智恵子（文4）、福永靖史、西田貴博（文3）、戎春花（文3）、奥勇士（政策3）、溝田晴矢、陸井美輝（情理2）

アメリカンフットボール部

第3回 Tokyo Bowlで慶大に完勝

アメリカンフットボールの2016年度東西大学対抗戦「第3回 Tokyo Bowl」が12月25日、横浜スタジアム（横浜市）で行われ、関西Div.1準優勝の本学と関東1部TOP8準優勝の慶應義塾大学が対戦。第1クオーターから着実に得点を重ね、最後まで相手にタッチダウンを許さず44対6で完勝し、シーズン最終戦を飾りました。

写真提供／アフロ

女子陸上競技部

2016富士山女子駅伝でV4 全日本の雪辱を果たす

2016全日本大学女子選抜駅伝競走（富士山女子駅伝）は12月30日、富士山本宮浅間大社前をスタートし富士総合運動公園陸上競技場をゴールとする7区間43.8kmで行われ、3区のエース・大森菜月選手（スポ健4）の区間賞の力走で先頭に立った本学がそのまま逃げ切り、2時間25分43秒で大会4連覇（10度目）を果たしました。6連覇を目指した10月の全日本大学女子駅伝（杜の都駅伝）では松山大学の後塵を拝し悔し涙を流しましたが、ここでは結束力と層の厚さを見せ付け、5区で2位に上がった名城大学に1分38秒の大差をつけて頂点に立ち、杜の都駅伝の雪辱を果たしました。

アンカーの松本選手　写真提供／月刊陸上競技

〈 出場メンバー・区間順位 〉※敬称略
◆1区　区間2位
佐藤成葉（経済1）
◆2区　区間3位
菅野七虹（経済4）
◆3区　区間賞
大森菜月（スポ健4）
◆4区　区間賞
池内彩乃（経済4）
◆5区　区間7位
和田優香里（スポ健3）
◆6区　区間2位
園田聖子（経済4）
◆7区　区間2位
松本彩花（スポ健3）

CULTURE/ART 文化・芸術

問い合わせ先：学生オフィス
075－465－8167

第6回みなくさまつり ～えんでつなぐ　みなみくさつ～

12月4日、びわこ・くさつキャンパス（BKC）の最寄り駅でもあるJR南草津駅・西口側特設会場で、第6回みなくさまつりが開催されました。

“住民同士の繋がり、老若男女を問わない温かな人の輪を培ってほしい”との想いを込め「えんでつなぐ」をテーマに催されたイベントには、市内外から約1万名が参加。交流を深めるとともに楽しい時間を過ごしました。

立命館大学では、みなくさまつりを「地域の方々への感謝の気持ちを表し、地域の方々との絆を確認する機会」と位置付け、実行委員会への参加はもちろん各種企画の運営＆参画、学生団体によるブース出展やステージ出演などに取り組み、交流に加え日ごろの活動や研究・技術などについてPRするよい機会となりました。

〈「立命館大学ブース」参加型企画 〉
● Ritsumei Racing（内燃機関研究会）
「見て・触れて・感じるフォーミュラーカー!」
●奇術研究会　マジックプレイヤーズ
「マジックショー」
● Healing Circle OBAN
「足裏リフレクソロジー（あしもみ）」
●ヘルスポ＋R
「健康チェック（サルコペニア）」
● agRits「農業から地域を元気に！
～しがのおいしいものを食べましょう～」

〈 ステージ出演 〉
●アカペラサークル Song-genics
●モダンジャズバレエ部　他

〈 参加企画 〉
●「ダンボール迷路であそぼう!」
●「びわこてらこや」
●くさつビブリオバトル 2016

応援団チアリーダー部

第28回全日本学生選手権大会で4位、ダブルスは上位を独占!

12月10・11日の2日間、第28回全日本学生選手権大会が国立代々木競技場第1体育館（東京）で行われ、応援団チアリーダー部がDivision1競技部門で4位、ダブルス演技競技でメダルを独占する活躍を見せました。Division1競技部門では36チームによる準決勝をノーミスの2位で通過。期待された決勝は落下などがあり4位という結果となりました。チームキャプテンを務めた大西真菜美さん（産社3）は、「何度もミーティングを繰り返してチーム作りをしてきました。本番ではみんなで目標に向かい、一つになって演技ができましたが、不安な部分を残してしまいミスが出てしまいました」と悔しさをにじませました。

かるた会

第58回西日本新聞社杯小倉百人一首団体対抗かるた選手権大会　優勝

第58回西日本新聞社杯小倉百人一首団体対抗かるた選手権大会が12月11日、福岡市博多区の櫛田神社で行われ、本学かるた会は、大学選手権で敗れた慶應義塾大学にリベンジを果たし、頂点に立ちました。2016年度は、あと一歩のところで優勝を逃した大会が多く、苦しいシーズンとなりましたが、今季最後の団体戦で有終の美を飾りました。

「競技かるた」とは小倉百人一首の書かれたかるたを用いて行う競技のことで、近年では競技かるたを題材にした漫画が関心を呼び、競技人口も増加傾向にあります。本学では2011年にかるた会を重点強化クラブとし、強化を図ってきました。これまでも、卒業生を含め、数多くのかるたクイーンや名人などを輩出しています。次の全国大会は3月末に行われる全国職域学生かるた大会。今回の優勝をステップに学生日本一の栄冠を目指します。

●団体戦メンバーは以下の通り ※敬称略
田中嵩久（文2）、渡邉千尋（産社2）、中村汐里（文2）、岩﨑隼平（文1）、楠見アキ（産社1）、坊亜沙美（産社1）、橋本紗英（文2）

交響楽団

第116回定期演奏会を開催

交響楽団は12月13日、京都市左京区の京都コンサートホール・大ホールで第116回定期演奏会を開催しました。幻想交響曲と題し、ビゼーの歌劇「カルメン」組曲より抜粋、ファリャのバレエ音楽「三角帽子」組曲、ベルリオーズの幻想交響曲作品14などを披露。悪天候にもかかわらず詰め掛けた1,251名の観衆を魅了しました。

応援団

第57回CHEERING FESTIVAL ～応援の夕べ～ を開催

応援団は12月17日、大東市立総合文化センター・サーティホールで、1年間の感謝を込めたステージ、第57回CHEERING FESTIVAL ～応援の夕べ～を開催しました。これで引退となる4回生を含め、部員たちの息の合った演技＆演奏で詰め掛けた観衆の目と耳を釘付けにしました。

囲碁研究部

第60回全日本大学囲碁選手権準優勝

大学日本一を決める第60回全日本大学囲碁選手権は12月23～26日の4日間、東京都千代田区の日本棋院で行われ、2連覇を目指した囲碁研究部は準優勝と健闘しました。全国8地区の予選を勝ち抜いた代表校の総当たり戦で行われた団体戦（各校5名）。九州大学、広島大学、岐阜大学、東北大学をそれぞれ5対0のストレートで下すなど順調に勝ち星を重ねたものの、早稲田大学に2対3で惜しくも敗れ6勝1敗の2位。チームで、唯一7戦全勝で終えた平野翔大さん（産社1）には全勝賞が贈られました。

将棋研究会

第47回学生王座戦で2年ぶり9回目の優勝

将棋の学生日本一を決める第47回学生王座戦は12月25～27日の3日間、三重北勢地域地場産業振興センターで行われ、将棋研究会が2年ぶり9回目の優勝を果たしました。また、個人の頂点を目指す第45回学生王将戦（23・24日）でも長森優作さん（産社2）が初優勝を勝ち取りました。主将の阿部俊貴さん（理工3）は、「チーム、個人ともに予定通りにはいかない王座戦でしたが、本音で話せるチームになれ、全員でつかんだ優勝です」と喜びを述べました。また、個人タイトルを獲得した長森さんは、「今まで学生大会ではあまり活躍できていなかったので、今回は“絶対に優勝する”という気持ちで臨みました。その目標が達成できて良かったです」と笑顔で振り返りました。

CAMPUS TOPICS
キャンパストピックス

高橋卓也生命科学部教授が日本学術振興会科学研究費助成事業の審査委員表彰を受賞

日本学術振興会は、学術研究の振興を目的とした科研費の業務を行っており、適正・公平な配分審査に努めています。科研費の配分審査は、専門的見地から第１段審査（書面審査）と第２段審査（合議審査）の２段階で実施。その審査の質を高めることが重視されており、審査終了後には、審査の検証が行われています。その検証結果に基づき、第２段審査（合議審査）に有意義な審査意見を付した第１段審査（書面審査）委員を選考して表彰しており、その一人に構造生物化学（審査細目）の書面審査を担当した高橋教授が選ばれました。

高橋教授（中央）・吉田美喜夫学長（左）・渡辺公三副総長（右）

国内外の研究者を招いての国際シンポジウム「稲盛経営哲学に基づく社会の実現に向けて」

12月８日、大阪いばらきキャンパスで、第２回国際シンポジウム「稲盛経営哲学に基づく社会の実現に向けて」（主催：立命館大学稲盛経営哲学研究センター）が行われ、国内外の研究者、企業関係者、学生ら184名が参加しました。

開会に先立ち稲盛和夫名誉研究センター長（公益財団法人 稲盛財団理事長・京セラ株式会社名誉会長）の「現代社会は人間の欲望によりさまざまな問題が起きています。現代資本主義経済においては格差も拡大しています。調和と共生を目指すには、利他に基づく社会の研究を推進し、その成果の発信が不可欠です」との挨拶がありました。その後、楊壮北京大学国家発展研究院教授・MBA ／ EMBA（BiMBA）院長および広井良典京都大学こころの未来研究センター教授の基調講演のほか各種研究発表（中島隆博東京大学教授ら）を実施。野中郁次郎一橋大学名誉教授などを招いてのパネルディスカッションでは「利他の心」に基づく社会とはどのようなものか、その実現の課題と方法とは何かなどをテーマに、稲盛経営哲学を踏まえ活発な議論が交わされました。

稲盛和夫名誉研究センター長

岐阜県と「就職支援に関する協定」を締結 連携強化に取り組む

12月13日、立命館大学は岐阜県と「就職支援に関する協定」を締結しました。

岐阜県内の企業や機関に就職を希望する学生やその保護者に、同県内の企業・機関の採用情報やイベント開催情報などを提供するとともに、同県と本学が連携・協力して、学生のUIJターン就職の支援などを積極的に行っていきます。

本学と都道府県との就職支援に関する協定締結は今回で20件目となります。

吉田美喜夫学長（右）と古田肇岐阜県知事（左）

立命館大学と草津市、滋賀銀行との三者による包括連携に関する協定を締結

立命館大学と草津市、滋賀銀行は、地域経済の活性化に向けた取り組みを推進することを目的に三者による包括協定を締結しました。これを機に今後は三者が保有する人的・物的・知的資源を有効に活用しながら、地域・企業が抱える課題の解決や雇用の促進、人材育成などを通じ、地域の活性化やまちづくりの推進を図っていきます。

吉田美喜夫学長（左）・橋川渉草津市長（中央）・高橋祥二郎滋賀銀行頭取（右）

ソフトバンクグループ株式会社と教育分野における包括連携協定を締結

学校法人立命館（以下「立命館」）とソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）は、12月26日、教育分野における包括連携協定を締結しました。

本協定は初等中等教育におけるICT活用の促進と教育環境の整備および質の向上を目的としています。また、本協定による相互の知的・人的資源の活用と交流の一環として、人型ロボット「Pepper」を2017年3月から3年間自治体に貸し出す「Pepper社会貢献プログラム スクールチャレンジ」において、全国の公立小中学校で活用するプログラミング教育用のカリキュラムを立命館とSBGが共同で開発。児童・生徒の論理的思考力や問題解決力、創造力などの育成に貢献していきます。

長田豊臣理事長（右）・宮内謙SBG 代表取締役副社長（左）・谷花音さん（中央）

文学部

正課と課外をつなげる～毎日新聞社と「こども高野山夏季大学」のインターンシップを実施

文学部は、2015年から毎日新聞社と連携したインターンシップを行っています。インターンシップでは、毎日新聞社主催の「こども高野山夏季大学※」に参加する子どもたちを支援。毎日新聞社大阪本社での事前研修などを含め、社会経験、参加者との対話や日本古来の文化との遭遇、自然の中での世代を超えた共同作業などを通じ、自らの学びおよび将来につながるたくさんのことを吸収しました。

※和歌山県の霊峰・高野山で小学生（４～６年・約60名）が夏の思い出を刻む体験イベント。宿坊に寝泊まりし、多彩な講座を通じて「いのち」の大切さを学び、豊かな感性を育むことを目的に毎年夏休みに開かれるもので、今回で10回目。

法学部

法曹への道しるべ「模擬裁判」

法学部では、法の実務を通じた「法曹を目指す学びの動機」を重視し、学生たちが法学の道を歩み始める２回生の前期セメスターという比較的早いタイミングで「模擬裁判」を実施しています。模擬裁判では、京都地方裁判所で1928年から43年まで実際に使用されたものを戦後、完全な形でキャンパス内の末川記念会館内へ移築した実物の法廷「松本記念ホール陪審法廷」を使用。学生が主体的に準備（１カ月間）を進めるスタイルが特徴で、教員は必要な助言を行う見守り役となり、指導には現役の弁護士として活躍する卒業生が関わります。準備などを含め、こうしたプロとのやり取りなどを通じて得た実社会での課題解決アプローチが、今後の学びの動機につながっていくことが法学部の学びの真髄となります。なお、授業の様子は動画でも紹介しています。

https://www.youtube.com/watch?v=1IdrikVAUsQ

総合心理学部

4年後の自分を考える「キャリア・ウィーク」

総合心理学部は、前・後期のそれぞれ第９週目を「キャリア・ウィーク」とし、多くの講義でキャリアを意識した内容を盛り込んでいます。

キャリアをめぐる問題と関連づけた内容を取り上げ、学生に今後の進路、生き方（過去・現在・未来の経路〈道すじ〉）について考える機会を提供することを意図したもので、大学生活への適応とともに卒業後の人生（短期的展望と長期的展望の両面）を視野に入れながら、個々の学生の自己形成の促進、成熟を図ります。

「社会の中の心理学」では、文学部心理学専攻でサトウタツヤ先生のゼミ生だったOB・OG（弁護士や主婦、企業の営業職など）を、「認知心理学概論」では富山県警察本部刑事部科学捜査研究所の研究員を招き、講演やゲストとのパネルディスカッションなどを通じて、心理学と各種職業との関連性、心理学を学んだことの意義、卒業後の人生などについて学びました。

理工学部・薬学部

薬学部・理工学部×玉川小学校「マイドリームスペシャル授業」

12月６日、びわこ・くさつキャンパスで「マイドリームスペシャル授業」を実施しました。BKCに隣接する草津市立玉川小学校の６年生 107名を対象に、理工および薬学部の授業体験や関連する施設見学、学食体験などを通じて、大学や研究、大学生に対する「憧れ」を持ってもらおうと2015年度から行っているもので、今回が２回目となります。教員や学生の指導のもと、実際に薬剤を使った実験のほか、電子顕微鏡を使用するなど参加者は楽しいひと時を過ごしました。

スポーツ健康科学部

中国大学生訪日団と国際交流

12月16日、びわこ・くさつキャンパスで、外務省が実施する日本とアジア大洋州地域をつなぐ青少年交流事業「JENESYS2.0」で来日した中国大学生訪日団とスポーツ健康科学部生との国際交流を行いました。

参加者からは、「違う価値観を形成してきた人々と話をするのは貴重な時間で、自分を成長させてくれると感じました」「英語を母語としない人々との交流は初めてでしたが、お互いに理解しようとすることで、通じ合うことを感じました」など、交流で新たな視点が得られたという意見が多く聞かれました。

経済学部

「就職活動応援企画 実践と学び編」を開催

１月７・８日、経済学部同窓会の支援のもと、３回生を対象に「働くことを徹底的に考える就職活動応援企画 実践と学び編（メントレ）」を開催しました。

昨年６月の「キャリアと学び編」から、10月上旬の「自己分析と学び編」、10月下旬の「面接と学び編」に続く最終回で、「なぜ学ぶのかを考えることは、自分を考えることであり、それは、なぜ働くのかにつながる」をコンセプトに実施。３回生にとっては、自己分析や志望動機の再検討を行い、自分自身や働くことについて深く考え抜く機会となりました。参加者からは「厳しさと優しさを持って接していただき、これからとこれまでのキャリアを考える重要な機会になりました」などの声が聞かれ、満足度の高い２日間となりました。

立命館大阪梅田キャンパス 2017年度 公開講座のご案内

講座名	開催日時	内容	詳細・お問い合わせ先
木津川 計講座	5/12、6/9、7/14、9/15、10/13、11/10（全6回） 14：00～15：40	テーマ：ことばの身づくろい 元立命館大学教授であり、上方芸能評論家でもある先生が練り上げる、一講座の枠組みを超えたひとつの「芸術」とも言える講座です。	立命館大阪梅田キャンパス公開講座事務局 （大阪富国生命ビル 14階） TEL：06-6360-4895 http://www.ritsumei.ac.jp/osakaumedacampus/ ※講座詳細情報は3月下旬より随時更新予定
安斎 育郎講座	4/25、5/30、7/4、8/29、10/3、11/28（全6回） 14：00～15：40	テーマ：落語×戦争・平和・人権 専門は「放射線防護学」「平和学」ですが、俳句・絵手紙・マジックまで、その底知れぬ才能・知識から紡ぎ出される「安斎節」に魅せられる圧巻の講座です。	
大阪・京都文化講座（前期）	5/15、5/22、5/29、6/5、6/12、6/19、6/26、7/3（全8回） 14：00～15：40	テーマ：大阪・京都の一大事 大阪大学大学院文学研究科・大阪大学21世紀懐徳堂・立命館大学文学部が共催する公開講座です。大阪と京都に関するテーマに沿った内容を、大阪大学・立命館大学が選出した講師陣が交互に講演いたします。	
大阪・京都文化講座（後期）	2017年10月～12月の月曜日予定（全8回） 14：00～15：40		
立命館大阪梅田キャンパス講座	準備中 14：00～15：40 予定 ※水曜日実施予定 ※2016年度は10月～2月、全15回開講	テーマ：『学び』というあそび@梅田 「文学」「歴史」「法律」「経済」など分野・枠組みを超え、自由な発想で設定されたテーマの下、バラエティ豊かな講師陣が講演いたします。	

立命館東京キャンパス 2017年度 公開講座のご案内

講座名	開催日時	内容	詳細・お問い合わせ先
文学部創設90周年記念講座 「文学の地平―京都と横浜の物語」	6/17、7/1、7/15、7/29 13：00～14：30	立命館大学文学部創設90周年にあたり、包括協定を結ぶ神奈川近代文学館と連携して、文学の楽しみを縦横に味わう「文学の地平―京都と横浜の物語」を開催します。本講座では京都と横浜という日本の近代化に携わった二つの都市の特徴を中心に見据えながら、文学に表れた様々な現象を紐解いていきます。	立命館東京キャンパス （サピアタワー 8階） TEL：03-5224-8188 http://www.ritsumei.ac.jp/tokyocampus/course_guide/
立命館孔子学院東京学堂 中国語講座	通年 初級Ⅰ：4/7～7/14、9/29～1/12 初級Ⅱ：4/12～7/19、9/27～1/10 準中級Ⅰ：4/11～7/11、9/26～1/9 準中級Ⅱ：4/6～7/13、9/28～1/18 中級Ⅰ：4/11～7/11、9/26～1/9 中級Ⅱ：4/12～7/19、9/27～1/10 準上級：4/6～7/13、9/28～1/18 半年 新HSK対策（6級）4/8～6/17（全10回）	初級Ⅰから新HSK対策講座（6級）まで段階を追って着実に力を伸ばしていくことができる講座です。	

立命館大学 大阪いばらきキャンパス 2017年度 公開講座のご案内

技術を活かすイノベーション・スクール ～業界別ケースで学ぶ新規事業創出ディスカッション授業～

企業の中核人材である新規事業担当者を対象に、5つのビジネス・ケースを使って実践的なディスカッション授業を開催します。取り上げるテーマは、ヘルスケア、素材、電気・電子、知財交渉、機械。新規事業の立ち上げに必要な「技術探索」「要素技術」「製品開発」「事業開発」などの知識、スキル、そしてマインドセットなど「仕事力」を鍛えます。

●コーディネーター：児玉耕太准教授（大学院：テクノロジー・マネジメント〈MOT〉研究科）

講座名	開催日	講師	受講料	詳細・お問い合わせ先
ケース・メソッド型授業とは？ 業界別ディスカッション授業 ―ヘルスケア編―	5月13日（土）	児玉耕太准教授 （MOT研究科）	初回のみ無料 第2回以降 8,000円（1回につき） 一括申込 30,000円	立命館アカデミックセンター http://www.ritsumei.ac.jp/acr/ ●その他、「食と農の学校」「『ビジネスの作法』講座」「税法講座」など様々なプログラムを開催予定です。詳細は3月末に立命館アカデミックセンターホームページに掲載します。
業界別ディスカッション授業 ―素材メーカー編―	6月3日（土）	石田修一教授 （MOT研究科）		
業界別ディスカッション授業 ―電気・電子メーカー編―	6月17日（土）	崔裕眞准教授 （MOT研究科）		
業界別ディスカッション授業 ―知財交渉編―	7月1日（土）	小田哲明准教授 （MOT研究科）		
業界別ディスカッション授業 ―機械メーカー編―	7月15日（土）	名取隆教授 （MOT研究科）		

+R な人

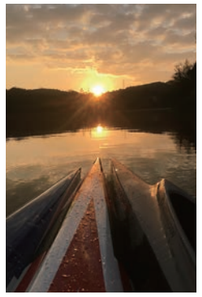
好きだからこそ、とことんまで突き詰めたい 大学での4年間をステップに 東京五輪でのメダルを目指す

スポーツ健康科学部4回生
新岡浩陽さん〈香川県立坂出高校出身〉
カヌー部　カヌー・スプリント男子カヤック日本A代表
卒業後の進路：滋賀レイクスターズ

皆さんはカヌー競技をご存じだろうか。五輪種目でもあるカヌー競技には、静水面で行われるスプリント（200m、500m、1000mでそれぞれ1人乗りのシングル、2人乗りのペア、4人乗りのフォア）と、流れのあるコースを使用するスラロームがある。これまでもドイツ、ロシア、ハンガリーなど欧州の選手が上位を占めるなか、リオデジャネイロ五輪カヌー・スラロームの男子カナディアンシングルでアジア初の銅メダルに輝いた羽根田卓也選手（ミキハウス）の活躍は記憶に新しい。そのカヌー競技のスプリント、なかでも水かきが両端についたパドルを使うカヤック（K、他にカナディアン・Cがある）で学生界の頂点に立つ新岡浩陽選手（スポーツ健康科学部4回生）。長距離を得意とし、一番距離の長いK-1（カヤック・シングル）1000mで、日本人初の五輪出場、そしてメダルを狙う若きエースに学生時代の思い出、今後について話を聞いた。

新岡選手には明確な目標がある。それは「2020年東京五輪でメダルを取る」こと。1回生だった2013年秋。東京開催が決まった当時は、まだおぼろげな夢でしかなかったが、2015年に世界選手権出場やアジア選手権入賞などを経験。それまで憧れだった選手とパドルを交えることなどで、目指すべき目標へと進化した。

カヌーとの出合いは小学校4年生の時。香川県内の府中湖で、まるでアメンボのように水上を楽しげに進むカヌーを目にし、気が付けば地元の名門『府中湖カヌークラブ』の入会書にペンを走らせていた。球技も駄目なら足も遅い。幼い頃から運動音痴を自称する新岡少年の心を唯一和ませてくれたスポーツがカヌーだった。200mや500mなど短い距離が中心だった高校までは、目立つ存在ではなかった。飛躍のきっかけとなったのは、大学入学を前に主戦場を1000mに絞ったこと。「得意種目に集中することで、大好きなカヌーをより楽しめるようになった」と振り返る。「好きこそものの上手なれ」の言葉通り、まさに水を得た魚のごとく日本のトップへと駆け上がっていった。


カヌーの上からのぞむ初日の出

K-1 1000mを中心にこれまで数多くの日本&学生タイトルを獲得してきた新岡選手が、特に印象に残っているレースに挙げるのが2回生および4回生時のインカレK-2 1000mと同K-2 200m。1回生時にも当時4回生だった先輩と組んでK-2 1000mに挑んだが惜しくも2位。「来年は必ず優勝します」と先輩に誓い、翌年、同級生の佐山建人選手（経済学部）と組んで見事頂点に立ち、リベンジを果たした。

卒業後はプロ選手として東京五輪へ挑む（右が新岡選手）

もうひとつが2016年のインカレ最終レースとなったK-2 200m。主将としてチームを引っ張ってきた佐山選手の引退レースで有終の美を飾らせてあげたい。それが4年間苦楽を共にしてきた仲間への友情と信頼の証しでもあった。新岡選手にとって苦手な距離。それでも阿吽の呼吸で漕ぎ切りVを果たした。シングルではなくペアを選ぶあたり新岡選手の性格を表しているが、最も悔しかった思い出にも、その最後のインカレで総合優勝を逃したことを挙げる（3位）。

「最大の目標だった佐山主将を閉会式で表彰台の一番高いところへ上げることができなかった。チームとしても個人としてもやり切った感はありましたが、この悔しさだけは一生忘れません」

大学時代は、個人よりもチーム、インカレを大切にしてきた。仲間と共に悔しさを糧に成長することができた。数多くの経験、大学での4年間をステップに、卒業後は戦うプロへと舵を切る。

体格で勝る海外の選手に打ち勝つため、これまでは対抗戦などを優先し、手を付けずにきた肉体改造に取り組み、東京までに体重を今より10kg以上増やす計画だという。体格は違うが、骨格&スタイルが似ているという理由で以前から憧れの存在だった2008年の北京五輪男子K-1 500m金、同K-1 1000m銅で、リオデジャネイロ五輪でもK-2 1000mで銅メダルに輝いているオーストラリアのKen Wallace（ケン・ウォーレス）選手を目標とする。2015年の世界選手権で言葉を交わしその人間性に触れ、さらにその想いを強くした。「まだコピーしている段階ですが、彼が現役の間に必ず追いつき、追い越します」。棘の道となるのは覚悟の上で、そうきっぱりと話す表情は、固い信念に満ち溢れていた。

INFORMATION

校友消息（判明分）

就任

肥田貴將氏（'09 経済）
株式会社エスケーアイ　代表取締役社長
2016 年 12 月 20 日就任

森智広氏（'01 理工）
三重県四日市市市長
2016 年 12 月 24 日就任

西分平和氏（'85 産社）
西川リビング株式会社　代表取締役社長
2017 年 2 月 1 日就任

能勢広宣氏（'86 経営）
クリヤマ株式会社　代表取締役社長
2017 年 3 月 27 日　就任予定

BOOKS（寄贈図書）

校友会へご寄贈くださいました本の中から一部を紹介させていただいております。

◆品川弥太男氏（'55 経済）
『たどり来し道 最高 最幸 上気元』
京都新聞出版センター　2,000 円（税込）

◆大西信二氏（'62 経済）
『珠算教育の振興を願って…珠の響き』
ツーネット　1,500 円（税込）

◆川村匡由氏（'69 文）
『脱・限界集落はスイスに学べ
住民生活を支えるインフラと自治』
農山漁村文化協会　2,484 円（税込）
『地域福祉源流の真実と防災福祉コミュニティ
―浅間山「天明の大噴火」被災地復興の教訓―』
大学教育出版　1,944 円（税込）

◆小島隆夫氏（'79 法）
『現代宇宙観と般若心経』
創樹社美術出版　1,296 円（税込）

◆折居和美氏（'87 経営）
『かんたんおしゃれな 実用雑貨折り紙』
ブティック社　1,080 円（税込）

アンケートにお答えいただいた方に抽選でプレゼントを実施中！

いつも、校友会報「りつめい」をご愛読いただきましてありがとうございます。校友会事務局では、より充実した会報をみなさまにお届けするため、アンケートを実施しています。ご協力いただいた方の中から抽選で、オリジナルグッズをプレゼントしますのでふるってご応募ください。なお、当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

アンケート方法

❶ 携帯電話、スマートフォンで簡単アクセス！

❷ 校友会ホームページ トップページのバナーをクリックしてアクセス！

編集室から

昨年、同年代のＣｈａｒの還暦コンサートで刺激を受け、ゼミの同窓会を40年ぶりに京都で開催。全国から集まった20数人が4年後の東京五輪で会いましょうと約束して散会。今年も年明けから、Ｃｈａｒ様のコンサートは外せない！ 取材初めは恒例京都冬の旅。大政奉還150年目の節目となる歴史が動いた舞台の二条城や御所を巡る予定が、御所で宮内庁の固いガードに阻まれる。というか当たり前の対応をされただけなのだが。観覧は16時まで、門には15時20分までに入場のことと、ただし書きがあるにもかかわらず、プレス班一行が到着したのは15時22分。MCの時間管理の緩さか、おごりか、騒然とする現場で初心に戻らされた課題の多い幕開けとなりました。（高橋英子）

最近うれしい出来事がありました。私事ですが、近い親戚がわが母校、立命館宇治高校に興味を持ち、受験をするとのことです。いろいろとヒアリングを受け、久しぶりに母校のことをたくさん話して懐かしい気持ちでいっぱいになりました。と同時に、今はいろいろな国際的なカリキュラムが増えていて、とても驚きました。留学コースができていて、その中に日本や宇治に関するカリキュラムまであるとのこと。私自身も留学先で、日本のことをお伝えするのはとても大切だと実感したことが多々ありました。日本舞踊を少し覚えて披露したり…親戚の子は、国際人として活躍することが夢ということなので、これからも応援したいと思います。（榎本暁子）

立命館大学が文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援」事業に選定されて2年半。あるプログラムの学生募集のため、学生60人程を個人面接し、全員に「将来したいことは何か」を聞くと、所属学部にかかわりなく、多くは貧困の解消や世界の人々が喜ぶ仕事をしたいと答えた。大学がグローバル化を進める中、学生の間にも世界で活躍したいという夢が育ちつつあることを知った。青春の多感な時期に東日本大震災を経験したためか、周囲から抜き出て孤高に活躍するよりも、世界中で困っている人の役に立つ仕事をしたいといった他者との共生を志向する学生が多いのが特徴的だった。桜の開花とともに立命館を巣立つ学生の今後の活躍が楽しみである。（加藤良直）

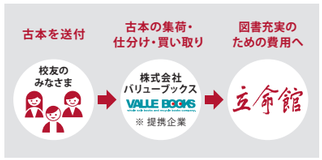
ご縁があり、家にハムスターを迎えることになりました。名前は「おもち」、苗字は「きなこ」で、白く淡い色のジャンガリアンなので「きなこもち」です。ミニチュアのこたつに入ると全然出てこないのは飼い主と性格が似ているからでしょうか（笑）。子どものころ、ハムスターや金魚を飼っていたのを思い出して、懐かしい気分になりました。当時、ペットの気持ちを考えるのが日課でした。なぜ、オスはメスを判別できて追いかけるんだろう。でも、なぜ、何度も間違って自分のふんを食べるんだろう…など考えていました。どうでもいいことですが大人になって忘れかけていた感覚です。毎日、忙しく効率よく生活するのもいいですが、30 分でもボーッと無心になってみてはいかがでしょうか。（五嶋翔一）

BOOKS FOR BOOKS ～立命館の本活～

REBORN

2013 年 4 月から 2016 年 12 月末までに 3,752 名の方々から 175,297 冊の本をお送りいただきました。誠にありがとうございます。
引き続き、校友のみなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

どのような仕組みですか？



以下の本は取り扱えませんのでご了承ください。

- ISBN のない本

ISBN 見本　ISBN978-4-1234-5678-9

- 百科事典　- コンピニコミック　- 個人出版の本
- マンガ雑誌　- 一般雑誌

※上記の本が混入していても、費用の負担などは生じません。

手続きの方法は？

①書籍を段ボール箱に入れる。
②電話（バリューブックス　0120-826-292）かWEBで集荷を依頼する。

※ お電話の場合は右の「申込書」をキリトリ線に沿って切り取り、必要事項をご記入のうえ段ボール箱に入れてください
※ 5 冊以上であれば送料は無料です

詳しくは WEB をご覧ください。　立命館の本活　検索

お問合せ先　学校法人立命館 総務部 寄付事務局　TEL：075-813-8110（平日 9:30 ～ 17:00）

お申込みに関してのご注意

買取額は市場価格等を考慮して（株）バリューブックスにて査定されます。買取額は需要と供給によって決まるため、ご自身が大切にされている本であっても、残念ながら低額となることや値段がつかないこともございます。お申込みに際しては、その点をご理解くださいますようお願い申し上げます。

BOOKS FOR BOOKS ～立命館の本活～ 申込書

1. 本申込書記入者（以下、私）は、私が所有する書籍等を株式会社バリューブックスに引き渡し、その売却代金を学校法人立命館が受領することをもって、私からの寄付とするものであることを確認します（現物寄付ではありません）。
2. 私は、株式会社バリューブックスおよび学校法人立命館に対し、理由を問わず、本件書籍等の返還、および買取相当額の支払いを請求いたしません。
3. 私は、株式会社バリューブックスと学校法人立命館が、本申込書に記載された氏名等の個人情報を本プロジェクトならびに学校法人立命館の活動目的にのみ使用することを了承します。

ご記入日　　年　　月　　日　　送付段ボール箱数　　箱

学校法人立命館 理事長 長田豊臣殿
学校法人立命館の設置する学校の教育および研究の充実のために本物品の売却代金を寄付します。

フリガナ
お名前
生年月日　西暦（　　）年（　　）月（　　）日
住所（〒　　-　　）
電話番号
E-mail　　@
寄付目的　立命館学園の図書充実のため
本学との関係（任意）
□ 卒業生　卒業 西暦（　　）年　卒業校・学部（　　）
□ 教職員　□元教職員　□ 在校生父母・卒業生父母
お子様の在籍校・卒業校（　　）

今後、本学の各種行事等のご案内を差し上げる場合がございます。希望されない方は右記にチェックをしてください。　□案内等を希望しない

事務局記載欄　買取価格　　円　　団体ID 98

<キリトリ>

立命館大学国際平和ミュージアム企画展のご案内

春季特別展

DAYS JAPAN フォトジャーナリズム写真展

第11回DAYS国際フォトジャーナリズム大賞
審査委員特別賞「ガザ」オリヴァー・ヴァイケン（epa）

フォトジャーナリストたちがとらえた世界の出来事やいのちの一場面が集まる、DAYS国際フォトジャーナリズム大賞。受賞作品で構成する本展には、戦争、難民、環境問題など、世界が抱える問題とそこに生きる人々の姿が浮かび上がります。

第 107 回ミニ企画展示

熟覧Ⅱ
―メディア資料室への誘い―

メディア資料室の魅力をお伝えする企画の第２弾。今回は学生スタッフに加えハワイからの短期留学生によるおすすめの収蔵資料や図書、収蔵資料検索コーナーなどから、ミュージアムの持つ豊富な教育・研究資源を紹介します。

第 108 回ミニ企画展示

ミュージアム・この1てん 「もうたくさんだ」

6月23日は、国内で唯一地上戦の戦場となった沖縄を思い、反戦・平和への決意を新たにする「慰霊の日」です。これに合わせ、沖縄に生まれ、沖縄を描いた儀間比呂志の版画作品を展示します。また、秋季特別展では、ミュージアム所蔵の儀間作品68点の公開を予定しています。

会　期

春季特別展	DAYS JAPAN フォトジャーナリズム写真展 **4月15日（土）～ 7月9日（日）**
第 107 回 ミニ企画展示	熟覧Ⅱ ―メディア資料室への誘い― **4月1日（土）～ 5月28日（日）**
第 108 回 ミニ企画展示	ミュージアム・この1てん「もうたくさんだ」 **6月1日（木）～ 6月30日（金）**

※常設展示（地階・2 階）は、上記展示期間以外でも見学することができます。

開館時間
午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分（入館は午後 4 時まで）

休館日
月曜日、4/30（日）、5/6（土）

観覧料
一般400円(350円)／中・高生300円(250円)／小学生200円(150円)
（　）は20名以上の団体料金／障害者手帳をお持ちの方（介護者1名を含む）は無料